知的障がい教育 参考資料 第**6**号 教科別の指導の充実のために4)

# 児童生徒の実態に応じた適切な指導内容を設定するために

令和5年度(2023年度)知的障がい教育室

本道における知的障がい教育の充実を目指し、教師の指導力の向上を図るため、参考となる資料を作成しました。今号は、児童生徒の学習状況を把握し、教師が実態に応じた指導内容を設定するための内容としましたので、参考にしてください。



クラスの児童には割り算を身に付けてほしいし、お金の計算もできるようになってほしいから、算数の指導内容はこれを中心に設定しよう!

ちょっと待って!学んでいる各教科の段階が違う児童は、指導内容が異なります。一人一人の学習状況を把握しましたか?



### 知的障がいのある児童生徒は…

> 同一学年であっても知的障がいの状態等が多様であり、学力や学習 大況も異なります。



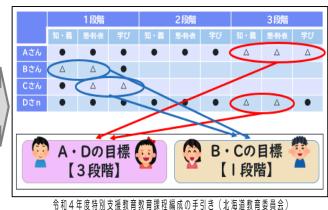
#### 指導計画を作成する際は…

▶ 個々の児童生徒の知的障がいの 状態や生活年齢、学習状況や経験等 <u>を踏まえながら</u>具体的な指導内容 を設定する必要があります。

## □ 学習状況を把握するために

例えば、下図のようなチェックリストを活用し、学習指導要領に示された各教科の段階や内容について、習得した内容と未習得の内容を把握することにより、一人一人の学ぶ内容を明確にすることができます。





**○1.** - 8. 1. 3

学びの履歴シート はこちら



教育課程編成の 手引はこちら

一人一人の学習状況を把握し

段階に合った指導内容を設定する

## ≪ここをチェック≫

一人一人の児童生徒が、これまでの学習で「何を学び、何が身に付いているのか」といった**各教科の学習状況を把握**することが大切です。



北海道立特別支援教育センター 〒064-0944 札幌市中央区円山西町2丁目1-1 (011)612-6211